



令和3年3月31日

ダンボの会編集委員会発行
連絡先：090-5371-4439

山崎 一功

「てとてとて」2年1組での読み聞かせで

下垣八重子

手でどんなことができるか、たくさん書いてあり、みんなにも手でどんなことができるか質問してみました。

多くの生徒さんが手を挙げて答えてくれ、教室では：絵を描く、給食の時、掃除。運動会では：玉入れ、綱引き、リレーのバトン。スポーツでは：ドッジボール、バレーボール、野球、バトミントン等々多数。

お父さんは：車の運転、魚釣り。お母さんは：料理、洗濯、掃除。

（家庭ではチョットジェンダー平等について話し合いが必要かな？）

読み終わって椅子から立ち上がった時、全員が拍手してくれたのでビックリ!!とても感動しました。思わず、ありがとう!!バイバイと手を振りました。



「卒業生を送る会」

山崎さなえ

ダンボの会主催の3月1日の卒業生を送る会に、4名が参加しました。

昨年はコロナで中止となり、今年もどうなるかと思いつつも準備を進め、コロナ禍で制約のある中、参加者が集まり、打ち合わせを重ね、宮沢賢治の「よだかの星」と谷川俊太郎の「生きる」の朗読と決まりました。決まり次第個別練習、合同練習に入り、もうこれで大丈夫と本番に臨みました。それでも、やはり子供たちを前にすると緊張します。

会の終了時には、子供達と先生から感謝の言葉をいただき、緊張が解けると同時に、今年はできて良かったと嬉しく感じました。

朝の短い時間でしたが、こども達と良い時間を過ごすことができました。



幼稚園での公演

三谷真里

3月4日、久手幼稚園で、読み聞かせ公演を行い、保護者の方にも多数来ていただき、最初は大型絵本「ぐるんぱのようちえん」の読み聞かせです。

ゾウのぐるんぱが作った大きすぎる品々で、みんなが喜ぶ幼稚園を開くというお話です。内容を知っている園児たちも身を乗り出すように聞いてくれました。

次に「おおきなかぶ」をナレーションにそって実際に演じ(?)、「かぶ」を引っ張る順番は、おじいさん、おばあさん、孫娘で、そのあと犬が出てくるところを着ぐるみの都合上、「しまじろう」が登場。園児たちの「え〜?」の声をよそに進行、アドリブ連発、子供たちの「よっこらしょ!どっこいしょ!」の声で、それまで紙に描いてあった「かぶ」が抜けた瞬間、運動会用の大玉で作った「巨大かぶ」に差し変わり、園児たちも大興奮でした。おしまいは「たのしいね」の歌をみんなで振りを付けて歌いました。

久手幼稚園が姿を変えて蘇る時、またかわいい園児たちと楽しい時間を過ごしたいなと思いました。

終始、マスクを付けて演じた会員の皆さんが、最後まで無事で安心しました。



暖かい日が続くようになってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

ダンボの会の活動にいつもご協力いただき、ありがとうございます。

コロナ禍で制約があり、思うように活動できないなか、会員の皆さん、各関係者の皆様のおかげで、前年度も何とか活動を続けることが出来ました。

また今年度、令和3年度子供の読書活動優秀団体、文部科学大臣表彰を受賞できることとなりました。これも今まで活動を支援していただいた皆様のおかげと感謝しております。

今年度も変わらずご理解、協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

松村 忍

